

人間が食べる物は、ヒグマにもおいしい。
人間のちょっとした行為が、ヒグマを引き寄せる。



日常生活にひそむ危険

《ゴミ出しも》

生ゴミを外に放置したり、夜間にゴミステーションへ出すのはやめましょう。人間の食べ物の味を覚えてしまうと、それを目的に何度でも来るようになってしまいます。



アウトドアにはらむ危険

《山菜採りも》



ヒグマはフキやイラクサなどを特に好み、草木の生長が早い沢など山菜採りに適した場所は、ヒグマの重要な餌場でもあります。

《漬け物のおいも》



物置や外に置いてある漬け物を餌として、ヒグマが居着いてしまった事例が報告されています。

ヒグマの痕跡のある場所では、キャンプをしないようにしましょう。においの強い飲食物はヒグマを引き寄せる恐れがあります。

《楽しいキャンプも》



もし、ヒグマに出合ってしまったら…!

ヒグマは本能的に逃げるものを追いかけるので、背中を見せて逃げるのはかえって危険です。万一、ヒグマと出合ってしまったら、ヒグマを見ながらゆっくり後退しましょう。

市に寄せられた疑問に答えます

CAUTION!

《山歩きも》

野山に入る前に、市のホームページや現地地の看板などで、ヒグマの出没情報を確認し、出没情報や看板、足跡など痕跡がある場所への立ち入りはやめましょう。

野山に入るときは、複数で。鈴や会話などで人間の存在をヒグマに気づかせる工夫をしましょう。犬を連れて行くのは、ヒグマを興奮させることがあります。

食べ残しや弁当容器、ジュースの空き缶などは、絶対に野山に捨てたり、埋めたりしては、いけません。



Q. 山奥にドングリをまけば、ヒグマは人里に下りて来ないのでは?

A. 人の手で餌をまく行為は、その山の生態系に影響し、ヒグマの個体数をみだりに増やすことにつながります。また、ヒグマはおいしい食べ物に執着し、1日に数十kmも移動するという説もありますので、根本的解決になりません。

Q. 市街地近くに下りて来たヒグマを駆除してしまうのはかわいそう。山に追い返せないの?

A. 基本的な考え方は山に帰ってもらうことです。しかし、追い払いのための爆竹などの音でヒグマが驚き、市街地方向に逃げ込む可能性もあります。また、麻醉銃を使用したとしても、麻醉が効くまでに時間がかかるため、撃たれて興奮したヒグマが市街地に出て被害を及ぼす危険性も否めません。場所、状況によって逆に危険が増すこともありますので、人身事故の危険性がある場合はやむを得ず駆除を行うこともあります。

この特集の お問い合わせ先

住民への注意喚起に関すること

南区総務企画課 地域安全担当

☎582-2400 内線210・252

市の対策・駆除等に関すること

環境局みどりの推進課 熊対策調整担当

☎211-2522

